

〈めざす子どもの姿〉

3つの宝をもって丸子中央小学校を卒業できる子ども

- 1) 自立した自分  
興味・関心のあることに取り組み、学習したことを活用できる子ども
- 2) 協働できる仲間  
互いのよさや違いを認め合い考えを交流しながら、心や体を働かせて友だちと共に学ぶ子ども
- 3) ふるさと丸子  
地域の文化や人を知り、未来に向かって地域を大切にできる子ども

学校教育目標

ひ た む き に  
や さ し く  
か し こ く

〈上田市教育大綱〉

「燦と輝く上田の未来を紡ぐ人づくり」

子どもたちの将来の礎となる「豊かな心と生きる力」を育みま  
す〈人づくり〉  
・課題を解決する力、自立する力を育みます ・人の痛みがわか  
かる、思いやりの心を育みます ・物事に取り組む意欲や探求  
心を育みます ・自分の考えや気持ちを伝える表現力を育みま  
す ・グローバルな視野とふるさとを愛する心を育みます ・夢  
や希望を持って未来をたくましく切り拓く心を育みます

〈保護者・地域の願い〉

・友だちや先生と仲良く生活し、楽しく学校へ通ってほしい  
・勉強したことを身につけ、確かな学力を高めてほしい  
・友だち、先生、地域の方に自分から元気にあいさつしてほしい  
・一人ひとりの子どもに寄り添った指導支援をしてほしい  
・丸子地域の自然、歴史、文化、産業などを学び、ふるさとのよ  
さを知ってほしい

【本年度の重点目標】

聞き合い 伝え合い 認め合える子ども

〔学力向上〕

考えを聞き合い、伝え合いながら  
進んで学習しよう

- 興味や疑問を大事にして、進んで調べたり考えたりしよう
- 自分の考えたことを発表し、仲間の考えを大切に聞こう
- 学習の約束を身につけ、真剣に学習に取り組もう

- ・学校や地域(ふるさと丸子)、子どもの興味を素材にした探究的な学びの充実
- ・考えを書き、声にし、必然性のある対話学習の推進
- ・全学級がめざす「5つの約束」
- ・ICTの有効活用
- ・授業のUD化、読み上げドリル、補充学習などで「わかった」「できた」を支える基礎を作る

〔人権教育〕

相手の思いや考えを認め合おう

- だれとでも心のこもったあいさつをしよう
- だれもが違った思いや考えがあることを知り認めよう
- みんなが楽しく笑顔になれる学校生活にしよう

- ・場に応じた明るいあいさつや返事の日常化(おはよう、ありがとう)
- ・多様性を認め合う道徳、人権教育の実践や交流活動の実施
- ・インクルーシブ教育の充実や個を大事にしたチーム支援

〔強い意志・体力向上〕

自分の成長を認めよう

- 「体みがき」「わくわくマラソン」を続けよう
- 「一人で向き合う清掃」をめざそう
- 規則正しく健康的な家庭生活を過ごそう(食事と睡眠、家庭学習、メディアコントロール)

- ・心身を鍛えたり学習に臨む姿勢を整えたりする、「体みがき」や「わくわくマラソン」の継続
- ・時間いっぱい一人になって気づきの清掃
- ・「つむぐ」を活用し睡眠、メディアとのつきあい、家庭学習など、保護者と共に考え、子どもの健全育成をめざした実践

【めざす教職員集団:まず教職員から始めよう】

- ・子ども一人ひとりのよさと違いをみつめ、自ら自立し可能性を伸ばせるよう、寄り添い共に歩む。
- ・20年後を生きる子どもを想像し「おぼえること」「考えること」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」を意識する。
- ・各自の強みを生かし「チーム中央小」として支え合い、情報共有を心掛け、明るく朗らかに行動する。
- ・保護者、地域の願いや思いを受け止め、共に子どもを育てようとする。
- ・教育公務員としての誇りを忘れず、常に見通しをもって計画的に行動し、自主的にワークライフバランスを大切にす。

〔地域と共に(信州型コミュニティスクール)〕

- ・学校運営委員会(地域代表、ボランティア代表、PTA代表)による学校運営へのアドバイスと支援、外部評価
- ・地域の方と共にある学校(学校支援ボランティアの募集、支援体制の充実)
- ・地域の方に学ぶ丸子地域の自然、歴史、文化、産業

〔保護者、家庭と共に(PTA活動に関わって)〕

- ・まずは、大人から笑顔であいさつ。子どもがあいさつを返したら、笑顔を返そう。
- ・大人も子どももメディアとつきあう時間を決めて守ろう。
- ・「早寝、早起き、朝ごはん」の大切さを知り、実行しよう。
- ・「つむぐ」を活用し、家庭学習の習慣が身につくように、子どもに寄り添う。